

地球温暖化防止のための、プロ野球界からの9つの約束。

THE RULES THAT WILL CREATE A HAPPIER WORLD.

WHAT HAPPENED IN THE PAST WILL HAPPEN AGAIN UNLESS WE DO TO PREVENT GLOBAL WARMING.

1	試合開始に登場！(****・*****)
2	選手交代は全力実施！
3	投手は速攻時にマウンドへ！
4	打者紹介は速攻状態でバッテース・ボックスへ！
5	バッテース・ボックスを離別に
6	ベンチ内を速攻時に利用！
7	速攻時にタイムを要求しない！
8	速攻時にゴール交換禁止！
9	審判員には速攻を促す！

つまり、

2010年のプロ野球も、試合時間と対照するのではなく、ムダな時間を減らすことで、環境への電力消費の削減を図るとともに、環境問題の解決を目指しています。そのために、ベンチ入り選手25人で25人の速攻の約束のもとプレイします。

グリーンベースボールプロジェクトポスター
地球温暖化防止のための9つの約束を示しました。



野球を通して温暖化防止に貢献する グリーンベースボールプロジェクト

——社団法人日本野球機構



試合時間の短縮と植樹活動を柱とした取組について語る日本プロフェッショナル野球組織事務局長の下田邦夫さん

森をささえよう

森と暮らそう

社団法人日本野球機構は、日本プロ野球のセントラル・リーグとパシフィック・リーグを統括し、公式戦の日程の作成、審判員・公式記録員の派遣、日本シリーズの主催などをこなしています。

プロ野球は照明や空調設備などに膨大な電力を消費することから、地球温暖化防止活動への取組として、平成20年に「グリーンベースボールプロジェクト」をスタートさせました。今年3月にフォレストサポーターズにも登録し、試合時間の短縮と植樹活動を柱とした取組を行なっています。

プロ野球は、観客に快適な環境を提供するため、空調設備や照明に膨大な電力を消費しています。そこで、日本野球機構としても、地球温暖化防止活動の高まりに背を向けるわけにはいかないと、平成20年から「グリーンベースボールプロジェクト」をスタートさせました。

このプロジェクトのねらいは消費電力の削減ですが、活動には大きく分けて2つあります。ひとつは試合時間の短縮、もうひとつはプロ野球の森の植樹活動です。

試合時間の短縮は、プロ野球の長年の課題です。平成19年までの10年間の試合時間の

平均は、延長戦を含めて、3時間20分でした。これを何とか短くするために具体的な行動はないかと考えていた時、目にしたのが「チームマイナス6%」という言葉でした。3時間20分の6%というと12分です。そこで、試合時間を12分短縮して3時間8分以内にすることを目標に、取組をスタートさせました。平成21年からは、さらに短縮することを目指し、延長戦は除いて、3時間以内に試合を終わらせるという目標にしました。

今年のスローガン「2010グリーンベースボールチャレンジ25」には、野球でベンチに入る25人が一体になって試合

フォレスト・サポーターズ

4つのアクション
活動紹介



🌿 **グリーンリストバンド**
 売上の一部を植樹活動に活用するとともに、地球温暖化防止をアピールしています。
 平成20年分のグリーンリストバンドの売上によって、平成21年2月、宮崎県の「プロ野球の森」で植樹活動が行なわれました。



🌿 **新潟県・北海道4町「プロ野球の森」調印式**
 平成22年は、新潟県と北海道の4つの町で植樹活動を行ないます。



🌿 **「プロ野球の森」での植樹活動(新潟)**
 にかがた千年マツ、タブノキ、シロダモなどの苗木約1,500本を植樹しました。



🌿 **「プロ野球の森」での植樹活動(宮崎)**
 カシ、ヒノキ、サクラの苗木2,000本を植樹しました。



🌿 **「プロ野球の森」植樹式展(宮崎)**

今日からやろう! 森のための

4つのアクション



森にふれよう



木をつかおう

時間を短縮しようという意味合いを込めています。
 昨年、一昨年と目標は達成できませんでしたが、9回での平均試合時間が、平成19年までの3時間13分から一昨年は3時間9分、昨年は3時間8分になり、少しずつ成果が上がってきています。ただし、目標が達成できなかったわけですから、超過した分についてはカーボンオフセット排出権を購入しました。
 次に、「プロ野球の森」の植樹活動です。これについては、球場で上映しているCMの中でも触れている「グリーンリストバンド」を製作して一個500円で販売し、その中から約100円を植樹活動への寄付として活用しています。グリーンリストバンドはオールスターゲームや日本シリーズなどの試合で選手に着けてもらい、ファンの方にも地球温暖化防止をアピールしています。

グリーンリストバンドの平成20年分の売上により、平成21年2月、多くのプロ野球の球団がキャンペーンをしている宮崎県で、「プロ野球の森」の植樹活動を行ないました。また、今年も、7月に新潟市西区の海岸保安林で植樹活動を行ない、今後、北海道でも行なう予定にしています。「プロ野球の森」の植樹活動については、それぞれの自治体と調印式を行い、取り決めに基づいて地域との交流を図りながら進めています。
 グリーンベースボールプロジェクトとは別に、野球で使う木のバットの材料であるアオダモを守っていくということ、日本高等学校野球連盟、全日本大学野球連盟、社会人野球を統括する日本野球連盟と共同で「アオダモ資源育成の会」というNPO法人を立ち上げ、10年に渡って北海道でアオダモの植樹活動を行っています。その活動には、折れたバットを材料に製作した箸、印鑑、靴べらなどの売上を活用しています。
 今後も、フォレストサポーターズの一員として球団や選手にも声をかけ、地球温暖化防止、美しい森林づくりの活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。